



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No.26 2025.1.29(No.3231)

ロータリーはステージ・
みんなが輝く!

第2560地区ガバナー／南雲 博文
会 長／渡 辺 良 一
会長エレクト／柳 取 崇 之 (クラブ奉仕A)
副 会 長／西 山 徳 芳
幹 事／船 越 良 則
S A A／落 合 孝 夫
会 計／小 林 吾 郎
直 前 会 長／吉 井 直 樹
会長ノミニ／小 林 吾 郎 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
https://www.sanjorotary.site

■本日の出席会員数:57名中43名
■先々週出席率:82.14%

【ゲスト】

- ・すいみいはうす
こころと発達のケア相談室
臨床心理士・公認心理師 佐藤浩平 様
- ・およぐペンギン ご意見おまとめ係
竹石幸織 様

【先週のメイクアップ】

- [1.22] 第4分区会長・幹事会(三條)へ
・杉山幸英さん、渡辺良一さん、
・船越良則さん
- [1.23] 三條東RCへ
・関川 博さん、五十嵐晋三さん、
・中村和彦さん、明田川賢一さん、
・丸山行彦さん、小越憲泰さん、
・石橋育於さん
- [1.23] 加茂RCへ
・成田秀雄さん
- [1.23] 三條RACへ
・渡部 宏さん
- [1.24] 第3回地区ラーニング委員会(新潟)へ
・関川 博さん
- [1.28] 三條北RCへ
・丸山行彦さん、小越憲泰さん、
・中村和彦さん、田久保良さん、
・吉井直樹さん



2024～2025 年度国際ロータリーのテーマ



「剣岳遠望」

会長挨拶 「定福寺」



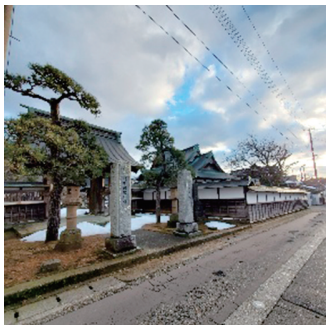
渡辺良一 会長

皆さんこんにちは。ご挨拶いたします。
嘗て羽生田駅前でお団子を買って人が列をなして向かった場所がありました。まるでアミューズメントパークに行くように向かった先に『子育て(延命)地蔵』で有名な定福寺というお寺がありました。

当時定福寺の前の通りは旅籠が並び、お土産屋さん、お菓子屋さんが立ち並びたいそう賑わったそうです。今も古い建物はその名残を残しています。

定福寺

かつて護摩堂山の麓にあり、真言密教との関わりのなかにあったが、後世になって曹洞宗に改宗し、現在地へ移ったものと思われる。国道403号線の羽生田交差点から山手の方へ右折し、旧道(三国街道田上線)を100メートル入った右手には、『子育て(延命)地蔵』で有名な定福寺がある。白壁の塀があり、何か尊厳さを感じる。



この子育て（延命）地蔵は、河内国矢田の金剛寺を開いて地蔵信仰を広めた満米（まんべい）上人（9世紀）の作と伝えられ、寛文12（1672）年に定福寺二世の熊谷和尚によって当地に勧請（かんじょう）された。無病延命の“子育て地蔵”として、近郷の信仰を集めている。かつては羽生田駅に下り立ったお参り客が行列を作り、途中の店に立ち寄り紅白の団子を買って、それをお供えしお参りしたとのこと。特に御開帳ともなれば、境内に店屋さんが並び、地蔵殿内ではゴゼの人達の公演もあったり、大変な賑わいであった。

六道地蔵と呑竜（どんりゅう）地蔵

いのちあるものは地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天の六道を生きかわり、死にかわり輪廻するという。その六道を救う地蔵の形態がよく保存されている石仏で、中央は呑竜上人作と云う。呑竜上人は徳川家康の知遇をうけ、不幸な嬰兒の救済に当り、子育て呑竜と庶民から慕われたという。



万霊供養塔の六地蔵

六道地蔵が浮彫されている。仏の功德力によって死者の生前の罪業が浄められ成仏するよう祈る、合字様式の呪文があり、田上では唯一の珍重な作例。元禄10（1697）年建立。

皆さんも機会がありましたら、羽生田の定福寺に寄ってみてください。なかなか趣のあるいいお寺です。

次回は弥彦神社まで他人の土地を踏まずに行けたとの逸話のある豪農のお話をしたいと思います。会長挨拶を終わります。

ニコニコBOX

渡辺良一会長

一昨日9℃からこの寒さです。ご自愛ください。佐藤浩平様、竹石幸織様、卓話よろしくお願ひいたします。

菊池 渉さん

やっとぬる爛の味わえる冬になりました。無論、ぬる爛も2合までです。ロータリアンですから…

関川 博さん

正月からコロナウイルス感染で寝込んでました。ご心配をおかけしました。

落合孝夫さん

雪がこれ以上降らないことを祈ります。佐藤様、竹石様、卓話よろしくお願ひいたします。

小林吾郎さん

久しぶりの雪、気を付けないと。

杉山幸英さん、船越良則さん、小越憲泰さん、石黒良行さん、高橋俊樹さん、中林順一さん、柳取崇之さん、白倉徳幸さん、中村友昭さん、丸山行彦さん、嘉瀬一洋さん、石橋育於さん、石倉政雄さん、斎藤弘文さん、長谷川正実さん、歸山 肇さん、安達俊明さん、早川滝徳さん、松永一義さん、山田富義さん、齊藤真澄さん、成田秀雄さん

佐藤浩平様、竹石幸織様を心より歓迎申し上げます。

本日は卓話よろしくお願ひいたします。

1月29日分 ￥ 27,000
今年度累計 ￥783,000

卓話

すいみいはうす
 ところと発達のケア相談室
 臨床心理士・公認心理師
 佐藤 浩平 様



地域における
メンタルヘルスの現状と課題
 ～産業臨床の実践から見てくるもの～

ところと発達のケア相談室
 臨床心理士・公認心理師 佐藤 浩平

自己紹介

佐藤 浩平 新潟県三条市（下田）出身
 上越教育大学大学院 学校教育研究科 臨床心理学コース修士課程修了。
 修士（教育学）、臨床心理士、公認心理師。
 専門は、発達臨床心理学、臨床心理地域援助、応用行動分析学など。

○所属学術団体
 日本自閉症スペクトラム学会、日本LD学会、日本精神衛生学会、日本心理臨床学会
 Association for Behavior Analysis International（国際行動分析学会）
 ○役員等
 ・新潟県臨床心理士会 産業労働地域支援部会 運営委員
 ・新潟県コミュニティ支援研究会 会長

三条市青少年育成センター、三条市教育委員会、三条地域若者サポートステーション、長岡大学、三条こもりびと支援センター、株式会社ハーモニック等で心理臨床を行う。

産業労働領域の経験

○平成31年4月～令和5年3月
 三条地域若者サポートステーション（就労支援）：相談員（心理）
 三条市社会復帰就労準備等支援事業：相談員（心理）
 精神疾患や発達障害を抱える人たちのメンタルヘルスの課題、不調を抱える人たちの就労支援を実施

○令和3年4月～現在
 新潟県就職氷河期世代ネットワーク化推進事業：臨床心理士
 新潟県の就労支援事業の一つ。就職氷河期世代向けの再就職に向けたカウンセリングの実施

○令和4年11月～現在
 株式会社ハーモニック：臨床心理士
 管理職の研修や社員のメンタルヘルス対策、カウンセリング、休職中の支援や復職支援などを実施

産業労働領域にみられる心理学的課題

メンタルヘルスに関すること
 (うつ病や適応障害など)

障害に関すること
 (発達障害・行動特性など)

人間関係に関すること
 (上長・部下・同僚など)

産業労働領域に多い精神疾患

- ① うつ病 (抑うつ障害)
 - ・楽しいや喜びなどの快感情を普段のように感じるようになる。
- ② 不安障害 (全般性不安障害など)
 - ・様々な問題・活動・状況について不安や心配を抱く。
 - ・疲れやすく、集中力の低下や筋肉の緊張などが見られる。
- ③ トラウマ関連疾患 (複雑性PTSDなど)
 - ・トラウマによるフラッシュバック (再体験) や身体症状が表出。
 - ・恐怖感に囚われることによって、今までの日常生活が送れなくなる。
- ④ 適応障害 (ストレス因子による)
 - ・ストレス要因になる出来事を経験すると抑うつなどの精神症状が生じる。
 - ・ストレス要因になるものが消失すると症状も消失する。

大人の (成人の) 発達障害

○発達障害とは何か？
 先天性の脳機能の偏りから生じる行動症状を伴う障害のことを指す。主に自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、限局性学習症などに分類される。

知的レベル高

限局性学習症 (SLD) 注意欠如・多動症 (ADHD)

軽度 知的能力障害

中程度

重度

知的レベル低

自閉スペクトラム症 (ASD)

障がいと特性

障がい・・・何らかの生活支障が生じている状態のことを指す。

特性・・・個人の特徴のことを指す。

得意なところ

- ・ルールを守る
- ・他者に流されにくい
- ・細かいところに気付きやすい
- ・興味のあることに一生懸命に取り組む
- ・多方面に目を向けることができる

苦手なところ

- ・コミュニケーションが苦手
- ・集中し続けることが苦手
- ・騒がしい場所が苦手
- ・考える前に動いてしまう
- ・運動が苦手

発達障害の人が感じる仕事上の困難さ

コミュニケーションが極端に苦手であり、困ったときに相談することができない

一度にたくさんの指示が入ると優先順位が分からなくなってしまい、パニックになってしまう

集中しているときに話しかけられてしまうと、自分が何をしたら良いか分からなくなってしまふ。

これまでの企業における実践

- ▶ 管理職研修
 メンタルヘルスの正しい理解をすることで、困難を感じている社員の早期発見とフォローを実施し、メンタルヘルス悪化の予防となる。必要に応じて、専門家（産業医・心理職など）につなげ、適切な対応を検討する。
- ▶ 社員のカウンセリング
 メンタル不調の社員に対する心理的な介入を実施。必要に応じて受診や休職などを総務と話し合い、本人に促しをする。また、継続的なケアを行うことで、不調の悪化を予防する。（休職者の復職支援も実施）

就労に困難や抵抗がある人の支援

○地域若者サポートステーション事業（厚生労働省）
 ・就労に困難を抱える無業者のための就労支援機関：通称サポステ
 ＊三条市には三条地域若者サポートステーションがある。
 （三条市・燕市・見附市・加茂市・田上町・弥彦村を所管）

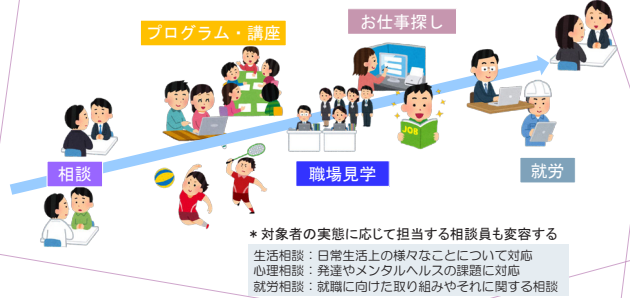
自分に自信が持てず、
 仕事をする勇気がでない

フランクがあり、
 就職活動が不安

前職で体調を崩してしまい、
 再就職が怖い

学生時代にトラウマがあり、
 就職に踏み出せない

サポステにおける支援の実際



今後の産業臨床の展開に向けて

○現状と課題

新潟県内の企業では、心理職が入り、メンタルヘルス対策を実施している企業は極少数であり、今後、拡大することで人材の維持や育成につなげていくことが必要。

何らかの困難を抱えている若年無業者が増加しているが、それぞれが、様々な強みを持っており、適切なマッチングによって、仕事の担い手となり得る。
 → 理解普及やサポートが必要

予防的支援に必要なこと（おまけ）

一方的に話をするのではなく、
 相互のコミュニケーションを意識する

1. 褒めるフィードバックをすること

仕事の進捗状況などをフィードバックするときに褒めることがコツ。また、褒められることで負担感が減少したり、意欲が高まったりする効果がある。

2. 重要な指示や連絡は顔を合わせておこなうこと

現在、メールなどのツールを用いた業務指示、状況確認が増えているが、その場での意見交換ができないことで、誤解を招くこともあるため、顔を合わせて行うことが重要である。

3. 5分間でよいので相談に対応すること

真剣に対応してもらった経験は、やる気、意欲を引き出すことにつながることも上司と部下の信頼関係の構築にも大きく影響するため、短時間でもコミュニケーションを真剣にとる時間が必要である。

メンタルヘルス対策について（おまけ）

メンタルヘルス不調は誰にでも生じうる問題であり、
 周囲の理解が回復に影響する。

労働者に生ずるメンタルヘルス問題は安全配慮義務に
 基づいて、適切に対応する必要がある。

早期発見、早期対応によって症状の悪化を予防できると
 ともに会社の環境変化や質が向上していく。

適切な声掛けや話を聴く姿勢によって、上司と部下、
 また、同僚同士の関係構築につながる。

2月のお祝い

◎会員誕生日

- 2日 五十嵐博宣さん
- 4日 荻根澤隆雄さん
- 8日 石倉政雄さん
- 26日 斎藤弘文さん



◎夫人誕生日

- 8日 松永純子さん（隆夫さん）
- 17日 五十嵐美和さん（博宣さん）
- 20日 白倉博美さん（徳幸さん）
- 22日 斎藤千也子さん（真澄さん）
- 26日 松永シゲミさん（一義さん）

◎結婚記念祝

- 18日 松永隆夫さん（純子さん）
- 28日 関川 博さん（由紀子さん）

◎100%出席賞

- 3年 松永隆夫さん



次週例会 2月12日 休会（祝日の週）

次々週例会 2月19日 夜例会「RI 創立記念例会 ～新年会～」
 18:30～ 於 二洲楼

